

ています。今後も児童・生徒の心の充実を目指して努力していきます。

問 児童・生徒の体験活動の充実について伺う。

教育長 本市が推進している幼小中高連携教育の中では、幼稚園・小学校・中学校・高等学校との交流活動を実施しています。今後も体験学習を有効に取り入れながら、子どもたちの「生きる力」を育てる教育を推進していきます。

問 学校・家庭・地域の連携について伺う。

教育長 家庭や地域社会の方々に学校を見ていただくような、地域公開を開催しています。授業では、地域の方々に学校のゲストティーチャーとして参加していただき、子どもたちが多くの人たちと関わり合いながら、体験的な活動をする機会を増やすことによって、心の教育を推進していきます。

問 主要地方道千葉・八街横芝線の夕日丘区坂江地区にある大きなカーブの改良工事の進捗状況について。

市長 印旛地域整備センターによると、この事業の用地買収率は約36%で、カーブ部分のうち、約50mは、工事が完了してはいますが、この前後の用地が未買収であるため、現在置きガードレールで対応しており、今後は用地が確保され次第、順次工事に着手する予定になっていくとのことですが、

▲交進小学校入口



農業の「担い手」作り

問 認定農業者の確保について伺う。

市長 認定農業者制度は、担い手不足が進行し、遊休農地や耕作放棄地などが増加する中で、認定農業者へ農地を集めることにより、効果的な土地利用を図る上で、地域の担い手として重要な役割を担っています。

現在、本市では85名の方が認定されていますが、他にも多くの方が認定農業者になれる可能性があること。また、国や県などのさまざまな農業施策についても、認定農業者等の担い手に集中化・重点化が進められていることなどから、さらなる掘り起こしを行い、多くの方に認定農業者になっていただけるよう努めます。

問 野菜価格安定制度の見直しについて伺う。

市長 国では、平成19年度から野菜価格

安定制度及び需給安定対策の見直しを行います。新しい対策では、これまでの価格安定制度の基本的な仕組みを維持しながら、産地を「安定的・継続的生産者の育成・確保状況」及び「計画的な生産・出荷への取り組み状況」によって3区分し、補てん率に格差を設けることとしています。



▶店頭には並ぶ八街産野菜

私立「風の村保育園」の開園

問 保育事業の概要は。

市長 私立「風の村保育園」は、平成19年4月からの開園に向けて、現在、建設しているところです。概要は、

定員はゼロ歳児6名、1歳児12名、2歳児12名、3歳児10名、4・5歳児20名の合計60名で、待機児童の多い3歳児未満児の受け入れを多く図っていく予定です。

八街幹部交番の移転

問 規模とスケジュールについて伺う。

市長 建物の規模等は、敷地面積は1千870㎡、建物の構造は軽量鉄骨造り、延べ床面積は500㎡程度で、現在の幹部交番の約3倍になり人員増が可能な規模です。また今後のスケジュールは、平成19年度中に設計・施工し、平成20年3月には竣工できるように予算要求中であると聞いています。

郷土史料館の充実

問 案内看板の設置について伺う。

教育長 案内看板の設置は現在予定はありませんが、当館の存在や活動をアピールするため、今後もより積極的に当館の周知及び広報に重点を置いて活動したいと考えています。

問 史料館のリニューアル構想はあるのか。

教育長 将来的な建て替えは、八街駅北側地区に予定している公共核施設の中に建設する方向で検討したいと考えています。

関連質問 中田 眞司

問 いじめについては、どのぐらい把握しているのか。

個人質問 山本 義一

市民の利便性の向上

問 JR快速電車の増発について伺う。

市長 関係各方面との密接な連携のもと、早期実現に向けてJR側とさらなる協議を進めたいと考えています。

問 JR総武本線の複線化について伺う。

市長 県と県内市町村で組